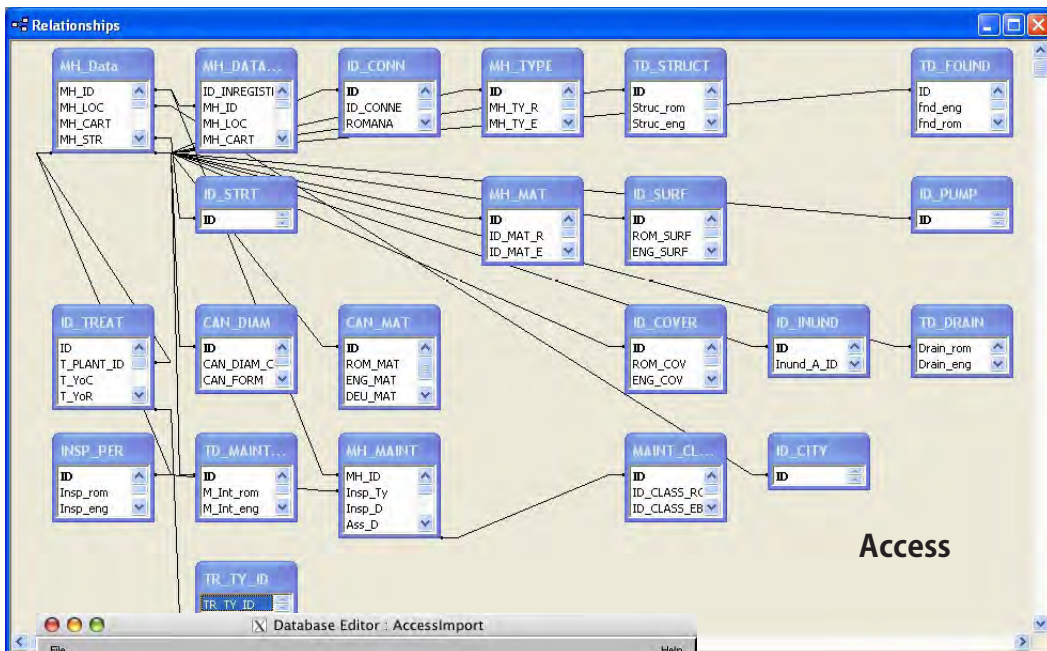
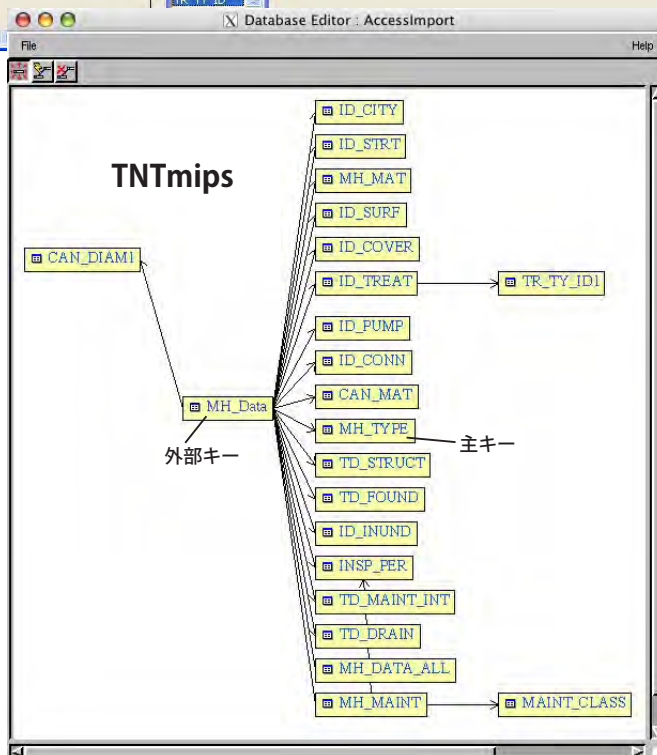


Microsoft Access のリレーションのインポート

空間データや地理データに関連したリレーショナルデータベースは、表示や解析のための強力な選択機能やクエリによるスタイル付与の土台を提供します。リレーショナルデータベースでは、要素とレコードの関係を定めるにあたって、他のテーブル中のフィールドを指し示すフィールドを持つことが出来ます。各テーブルのレコード全てを関連する要素へ直接アタッチする必要はありません。



大量のテーブルがあると、テーブルのリレーションを設定するのに時間がかかります。このような関係付けは TNTmips や他のデータベースソフトウェアを使って行うことが出来ます。Microsoft Access によって設定した関連付けは Access データベースを TNT 製品にインポートまたはリンクした時、そのまま維持されます。インポートする際、それらの関係を維持するためにすることはありません。全て自動で行われます。



データベーステーブルのリレーションは Microsoft Access (メニューバーの Tools/Relationships) と TNT 製品 (<レイヤコントロール>ウィンドウの要素データベース行の中の [テーブル/フォームの作成] アイコンの [リレーションの編集 (Edit Relationships)]) で見ることが出来ます。Access では Relationships の図に各テーブルのフィールドも表示されており、2つの関連しているフィールドや、フィールドがテーブルのウィンドウに表示されていない場合はリストの上や下の間に線が走っているのも、もっと複雑に見えます。TNT 製品ではテーブル名とリレーションの方向を表示しています (矢印は、他のテーブルの主キーを参照しているテーブルから、主キーのあるテーブルに向かって表示されています)。

一度データベーステーブルにインポートまたはリンクすれば、レコードに地理座標が含まれている場合、ピンマップで直接使うことが出来ます。しかし大抵は図形オブジェクト中の要素にレコードを関連付けたいと思うでしょう。インポート後に図形要素を全テーブルのレコードに関連付けるには、まずは 1つのテーブルのレコードに対して要素のアタッチを行います。どのテーブルを選ぶかはデータベースの構造によって決まります。大抵、データベースをインポートした図形オブジェクトにはすでに要素にアタッチしたテーブルを持っており、それに対して新しいテーブルを関連付けることとなります。その場合、リレーションを設定するためには最初のテーブルから外部キーを選択するだけです。例えば、州や郡の形状のベクタがあって、それらの名前が含まれているテーブルが直接アタッチされており、さらに州や郡の名前のテーブルがインポートされている場合、個々のポリゴンにアタッチしなくても、それらのフィールドを使ってインポートされたテーブルを関連付けることが出来ます。